

# 令和2年度 第9回 理事会議事録

日時：令和2年12月22日（火）19：05～20：30

場所：Web 会議、県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、磯野、高村、三科、小林司、北山、  
名取、平賀、菊池、古屋、井村、大西、鈴木、有泉

(部長) 秩父、小林泰、秋山

書記：笠井

## 会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数136

会員数923名 (施設865名 自宅58名)

### I. 会長より

来年は最後の任期の年となる。合同学会、50周年の準備を進めてもらいたい。2月は関プロの士会長会議が当山梨県士会が担当となり開催される。

### II. 審議事項 なし。

### III. 報告事項

#### 1. 各種委員会

##### ①特別支援教育委員会（有泉事務管理局长）

###### ・令和2年度第1回研修会の報告

12月10日、研修会を実施し約73名の参加者があった。郡内地域や峡北地区の教育委員会や普通学校の教師など、甲府地区での対面開催では参加してこないであろう地域の方の参加もあり、オンライン研修の強みを感じた。

ZOOMの招待状について、研修会は19時開始だったが、ウェビナーをスケジュールするときにウェビナー使用開始時間の18時でスケジュールしたため、招待状を送った文面に18時～と記載されていた。そのためか数名が18時前にアクセスしてきた。特に苦情などはなかったが特別支援教育委員会事務局（城南病院）には事前の案内文書とZOOMの招待状とで時間が違うとの問い合わせがあった。招待状はURLとID、パスワードなどの必要最小限の記載にした方がよいと思われた。

##### ②50周年記念事業実行委員会（三科理副会長）

###### ・委員会の報告と検討事項について

###### \*来賓について

ケアマネ協会会長、医療ソーシャルワーカー会会長を来賓として追加し、檀上に呼ぶことを想定する。

###### \*会場について

談露館を仮押さえしている。会場が狭い。ジット甲府プラザも空いており広さはあるが、アクセスを考えるとどうか。対面を考えているのなら、来ていただける方のことを考えた方がよい。理事、監事の皆さんの意見があればメールでお願いし

たい。

会長：会場が取れなければ日程を31日、または1週早くするなど、変更をしても仕方がないと思う。

###### \*発送業務について

事務員に業務を依頼することができる。

###### \*HPの作成について

士会のHPは業者がプラットフォームを作成し、文字や写真の入力は士会のスタッフが行っている。合同学会はOT士会のHPのサーバーを間借りしている。業者に頼めばサーバー代が数万円かかる。HP担当の中込先生に聞いてみる。

###### \*協賛企業について

協賛企業をリストアップしたので確認していただき、依頼しなくてもよい企業があれば連絡をいただきたい。

###### \*依頼文書について

文書を作成したので確認していただき意見をいただきたい。

###### \*ポスターについて

見積書を作成した。先が見えない状況だがポスターを作成していったいよいか意見をいただきたい。会長：ポスター等の発送について、時期が早すぎるのではないかと。

三科：タイムスケジュールでは、趣意書の発送は今月、協賛金を集めは4月～となっている。

平賀：企業からは、予算取りの関係上、年度が変わる前に情報だけはほしいと伝えられている。趣意書を送るには、最低限、会場と時間の確定が必要となる。

会長：時間的に余裕がなければ三役決裁もできる。

三科：明日の委員会で検討し、時間がなければ三役決裁をお願いする。

井村：公開講座が関連するので、チラシの作成についても考慮してほしい。また、枚数など確認して連絡する。

## 【決定】

理事は1月15日までに企業リストや依頼文書について意見があれば連絡する。ポスターは作成する方向で検討する。

##### ③がんリハ対策委員会（磯野副会長）

2月13日（土）web配信で研修会を開催する。

講師の辻先生には山梨に来ていただき配信を行う。今後、県、保健所、各市町村、医療施設に案内を発送する。

##### ④訪問理学療法委員会（小林副会長）

家屋調査の研修会を1月13日、実務者研修会を1月28日に開催する。どちらの研修会も出席した方に実務者研修の修了証書を発行する。

##### ⑤地域支援事業等推進委員会（小林副会長）

地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー導入研修の報告について

11月26日、12月3日にZOOMを使用したweb研修会を開催した。1名の受講生において通信環境の問題により断続的に通信が切断された。今回は事前に推奨通信速度等を明記しなかったため修了とした。今後、通信が切断された場合の修了の扱いについて検討が必要となる。

## 2. 各部・局

### ①学術研修局（名取学術研修局長）

#### 1) 第2回学術研修会講師謝金に関して

第2回学術研修会は都立大学網本和先生に講師を依頼している。

講師謝金100,000円を予定しているが、講師より謝金を辞退する旨の連絡を受けた。事業上、謝金を受け取っていただくよう規定の対応を依頼し、複数回にわたり説明を行ったが辞退の意思が強く、本件に関しては講師のご厚意を受けることとした。辞退の理由としては公的機関の所属である事に加え、理学療法専門職教育への献身性からのご厚意であった。

#### 【決定】

講師にはいつものお土産より額を上乗せして山梨の名菓などを贈る、研修会後の懇親会などのおもてなしを考えている。

#### 2) 第1回学術研修会開催における参加申込者のメールアドレスの流出に関して

第1回学術研修会に申し込みされた58名の方への研修会開催通知についてメールを送信した際に、他参加申し込み者のメールアドレスを「BBC」で送信すべきところ「宛先(to)欄」で送信してしまった。そのため、送信先の他参加者メールアドレスが確認可能な状態であったことを12月14日、本会運営部員の報告で判明した。12月15日に参加申込者へ謝罪と該当メールの削除依頼をメールにて行った。今後の対応として個人情報を含む重要なメールを送信する際は、複数名による配信前チェックを実施することとする。

磯野：ミスはいつ判明して、局長への報告はいつあったか。自分は知らなかったが会長には報告をしていたのか。

名取：部員が10月27日にメールを送信し、12月14日にミスが判明し当日、自分に報告があった。会長には報告をしていない。

磯野：担当者が責められることにならないよう、今後は局長が事務局や三役に早急に報告し、苦情などの対応ができるようにする。

古屋：地域支援等推進委員会でも窓口の先生が「BCC」で送信しなかった事例があった。

◎今後は各部長、委員長にもこの様な事例がないように気をつけてもらうように伝えていく。

### ②企画局（井村企画局長）

#### 1) 研修部研修会について

第1回研修会「リハビリテーション栄養と理学療法について」を3月12日にオンラインで開催する。リハ団体協議会災害対策研修会と同日開催になってしまうが研修の内容的に影響が少ないと考えられる。また、士会関連団体の規模拡大により今後もこういったことも起こってくるということを想定して今回は同日開催で行う。また、リハ団体協議会に関わる皆さんには、日程調整などの会議参加の際にはYahooカレンダーの活用の周知をお願いしたい。

有泉：他団体との協同している事業（POS 団体協議会等）の会議に出席する場合、事前にカレンダーをチェックしておいていただきたい。そのうえで、研修会の日程などを検討していただきたい。ヤフーカレンダーには予定でもいいので入力をお願いしたい。

#### 2) ワークライフバランスに関するアンケート調査実施について

前回提出時、アンケート項目数が多いのではとのご指摘があった。その後働きやすい環境創り検討委員会の藤田先生と連絡をとりアンケートの修正を行ってきた。前回のものより質問項目が多くなっているが確認下さい。Webアンケート作成ツールの使用を検討している。

有泉：設問が多いので、理事が一度アンケートを行い、井村局長にフィードバックするのがよいのではないか。

磯野：設問数が多くWEB上で10分以上かけて答えるのは実用的ではないのでは。どこを1番重要視しているのか内容を絞った方がよいのではないか。

会長：目的をしっかりと示してほしい。内容がバラエティーに富んでいるのはいいが、設問が多い。仕事と家庭を両立することを中心とした内容にした方がよいのではないか。

井村：看護協会が調査したものに合わせた形にしたが、内容について再検討していく。

### ③社会局（古屋社会局長）

スポーツ理学療法部員の活動可能人数増について

12月から活動承認部員が1人増となった。

### ④学術大会局（菊池学術大会局長）

山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会運営会議の報告について

延期となった学術大会の開催日程について令和3年7月4日（日）オンラインで開催。開催案内と

演題募集要項を県士会メールで発送済み。一般演題の募集期間は令和2年12月21日～令和3年2月末。会費は従来通りPT・OT・ST会員3,000円、非会員4,000円、その他関連職種1,000円、学生・その他は無料で進めていく予定。会費に関しては無料や金額を下げるべきといった意見もあったが、学術大会としての威厳を保つ意味でもしっかりと参加費を徴収していきたい。冊子の電子化、ポスターのデジタル化、依頼するWEB会社は検討中。

会長：会費について他の士会が了承すれば、いくらでもよい。PT士会として他の士会と足並みをそろえる。

磯野：会費は例年通りにするか無料にするか、検討事項にあがったが、例年通りにすることになった。PT士会で異論があれば意見をいただきたい。

小林：PT士会としては会議で提示された参加費3,000円の意見を支持することとする。

鈴木：冊子の電子化は決まっているのか。

菊池：決まっていない。紙媒体のものをいつも通り印刷して発送する予定でいる。

#### ⑤生涯学習局（北山生涯学習局長）

##### 1) 協会指定管理研修会について

開催日時が決まったので報告する。

令和3年1月21日（木）18時30分～20時までオンラインで行う予定。参加費は無料。理事の方は職場のスタッフに声をかけてもらいたい。

##### 2) 新人教育研修について

第2回の新人教育研修会が12月24日、第3回研修会が1月12日、19日、25日に開催される。参加費は無料。25～30名程の方が参加している。対象者はもう少しいると思うので、各職場のスタッフに声をかけてもらいたい。

#### ⑥学術誌編集部立ち上げWG（北山生涯学習局長・平賀士会支部設立推進局長）

学術誌編集部立ち上げまでのタイムスケジュールについて

タイムスケジュールについて以下のように計画を作成した。WG（2021年1～3月）、準備委員会（2021年4月～2022年3月）、部局の設立（2022年4月～）、学術誌発刊（2023年1月）を予定している。詳細について提示したので、他に必要な作業があればご意見をいただきたい。

WGが最も大事であると思うので帝京科学大から平賀先生を含めて2名、健康科学大からは高村先生、三科先生、理事から学術大会局の菊池先生、学術研修局の名取先生にメンバーとして入っていただきたい。改めてメールで連絡をしたいと思うのでお願いしたい。

有泉：費用弁償は総務部の予算から出したいと思うので、会議、参加者の報告をして活動を進めて下さい。

磯野：もう少し年齢の若い方にメンバーに入ってもらいたいと思うがどうか。

北山：次世代の理事に入るような方に、準備委員会からメンバーに入ってもらい、部局を中心に運営してほしいと考えている。今後、改めて人選について理事の方々からご指導をいただきたいと思っている。

#### ⑦事務管理局（有泉事務管理局長）

##### 1) ZOOMについて

ZOOMの申請許可について、許可書は利用する日の1週間前を目途に発行している。ZOOMの使用が増えているので、ヤフーカレンダーを確認し計画的な運用をお願いしたい。ZOOMのアカウントを使用した会議を行う場合は「ZOOM」と必ず記載するようにする。

##### 2) メール配信について

まだアドレス登録をしていない先生には登録の呼びかけをお願いしたい。12月18日現在575件の登録（重複あり）がある。これまでに全11回のメール配信を行っている。

##### 3) 2月の理事会について

2月23日は祝日のため、2月24日（水）に開催することとする。

##### 4) 会計書類について（秩父財務部長）

10月から12月分については、1月15日（金）までに秩父部長に届くように送ってしてほしい。

12月中に講師謝金が発生している場合は、1月10日までに納税をしないといけないため、早めをお願いしたい。

\*入倉部長が入籍し、「秩父」に改姓となったので、書類は秩父部長あてに送る。

#### IV. 次回の理事会日程について

日時 令和3年1月26日（火）19:00～

場所 Web会議

連絡 1月22日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。